

"高齢者の住まい"アウカイト

第8回「認知症高齢者と住環境」パートⅡ

前回は、洋式便器をトイレと認識できずサラダボールや鍋に用を足してしまう認知症の83歳のおばあちゃんの「失禁」に対応した事例を紹介しました。

今回は87歳の男性で「徘徊」に対応した事例を紹介します。

この87歳のおじいちゃんは、現在、特養ホームに入所しており、日暮れ時になると施設を抜け出して近隣地域に置いてある自転車を盗み行方不明を繰り返す認知症「徘徊」老人です。

まず、私達研究グループは、このおじいちゃんが何故、日暮れ時に施設を抜け出して地域の自転車を盗むのか調査することにしました。

施設に保存されている履歴資料には、元職業は「大工」となっており、施設入所前は施設のある尼ヶ崎に近い立花に居住していたことが記されていました。

私達は、現在は後を継ぎ工務店を営む長男にヒアリングをすることにし、立花に向きました。

その長男からのヒアリングの概要は「おじいちゃんは、尋常小学校を卒業し、すぐに小さな工務店に就職。そこでの生活は朝、鶏が鳴くと同時に朝食をとり、大工道具を自転車で現場へ向かう。そして、夕暮れになると大工道具を片付け自転車で店に帰る」という生活であったことが解りました。

おじいちゃんが認知症になる前、現在の工務店では、現場には自転車ではなくバンで通うことが日常となっており、おじいちゃんがリタイアする75歳頃はバンで現場に大工職人と通っていたとのことでした。

このおじいちゃんの職業歴から、おじいちゃんの自転車を盗み「徘徊」する原因がみえてきました。

おじいちゃんは、夕暮れ時になると自転車で乗り家に帰らなくてはという衝動にかられ、施設を飛び出し、自転車を盗み家路へ向かおうとするのです。しかし、途中で、家が解らなくなり行方不明を繰り返す毎日となった訳です。

近隣の住民からは、よく自転車が盗まれる。その犯人はどうも施設の老人のようだということが判明し施設に苦情を持ち込む事態に、また、交番所からは、時々、おじいちゃんが夢遊病者のように歩いているので職務質問をしても「家が解らない」と泣きそうな状態で、何とか調べ施設に送り届けており、施設に適切な対応をのぞまれている。

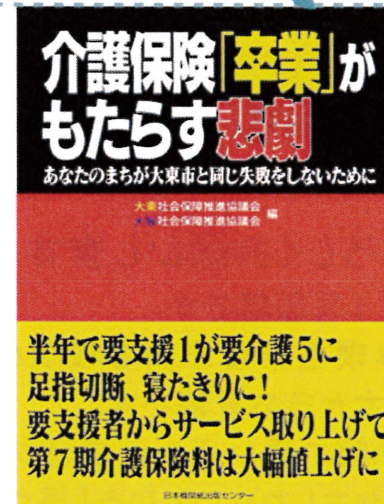
私達は、施設、町内会、交番所、及び家族に集まっていただき協議することを提案し合同会議を開催しました。

そこでの協議内容は、

- ② 施設の出入り口におじいちゃん専用の中古の自転車を常備する。
- ② おじいちゃんが自転車に乗って施設を出たら、必ず、職員が後を付ける。
- ③ 万が一、見失うこともあるので、その時間帯は町内会の住民も様子に注意する。
- ④ 交番所もその時間帯は施設と連絡を取り合い、おじいちゃんの動向を把握してゆく。等々、施設と地域、及び交番所の三者が連携しておじいちゃんの「徘徊」問題に対応してゆくことにしました。

(つづく)

書評 介護保険「卒業」がもたらす悲劇 あなたのまちが大東市と同じ 失敗をしないために



日下部雅喜 大阪社会保障推進協議会
大東社会保障推進協議会
新崎美枝 西村祐美子
寺内順子 新井 康友
出版社 日本機関紙出版センター
発売日 2018年04月18日
ISBN-10 488900954X ISBN-13
9784889009545 1,404円(税込)

前回の介護保険の改定で要支援相当の方の支援は市町村の事業となりました。それに加え、厚労省は状態が「改善」とすると交付金で経済的利益を誘導するという甘い「罠」を仕掛けました。

その甘言にのった市町村の一つがお隣大阪府にある大東市です。その仕組みは介護保険から軽度者を追い出し地域の住民の助け合い活動で安上がりな仕組みのもとで軽度者を「支える」事が制度の根幹です。

その施策は「半年で要支援1が要介護5に、足指切断、寝たきり」という悲劇まで生んでいます。

この本は大阪社会保障推進協議会が大東市の実態を研究者や現場に立つものたちが調査に入り調べ上げた記録です。

厚労省や大東市の最大の誤りは自立という概念を「人の世話にならない」身体と狭くとらえ、加齢による機能の低下を認めない視野狭窄にあります。

人は誰もが歳をとり衰えていきます。

その時の自立とは「自分がどう暮らしたいかを自分で決め行動すること」です。

それを若い頃の身体に戻すなんていう実現困難な概念を市民に強要するならば、不幸な老後をどんどんと生み出す事になります。

甘い罠である交付金で自治体を操る厚労省の戦略に自治体がのる可能性はどの街にもあります。

「我が事・丸ごと」地域共生社会をうたい、公的責任を後景に追いやって、地域の住民にその責務を押しつけるなれば、わたしたちの街では起こらないという根拠はありません。

そうならないためにもこの本が示す悪貨の実態を学ぶ価値があります。